

市議会だより

令和2年5月号

〒583-8585 羽曳野市誉田 4-1-1

羽曳野市議会事務局 Tel. 072-958-1111

羽曳野市ウェブサイトからご覧いただけます。

- 1 第1回定例会
QRコードの掲載について
編集委員会より
- 2～6 各会派代表質疑

令和2年第1回定例会報告

「市長の施政方針に対する各会派代表質疑」

第1回定例会

令和2年最初となる第1回定例会は、2月25日から3月27日までの、32日間の会期で開催しました。

今定例会では、市長の令和2年度施政方針に対する5会派による代表質疑、9名の議員による一般質問が行われました。また条例の制定や一部改正、令和2年度一般会計予算及び各特別会計予算など、34件の議案が上程され、審議を行いました。

また、意見書案「中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書」の審議が行われ、全会一致で可決しました。

今月号では代表質疑を中心に報告し、一般質問や各常任委員会等の報告は6月号に掲載いたします。

●QRコードの掲載について

令和元年5月号の「市議会だより」より、QRコードを添付しております。スマートフォンやタブレット端末で、録画映像をご覧になりたい議員のQRコードを読み取ると、「羽曳野市議会録画中継」サイト内の該当ページにアクセスでき、録画映像を閲覧することができます。

ぜひ視聴ください。

◆編集委員会より◆

羽曳野市では令和2年第1回定例会が始まる前に「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」が開かれて以来、日々状況が変わる中でさまざまな事柄について検討を行い、対策がとられています。

市民の皆様には楽しみにしていただいております。市民の皆様に楽しんでいただいております。市民の皆様に楽しんでいただいております。市民の皆様に楽しんでいただいております。

市民の皆様には楽しんでいただいております。市民の皆様に楽しんでいただいております。市民の皆様に楽しんでいただいております。市民の皆様に楽しんでいただいております。

市議会だよりにおきましては、「QRコード」の掲載に取り組んで丸1年になります。これからもわかりやすく、議会を身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。また、ご意見等ございましたらぜひお寄せください。

《市議会だより編集委員会》

広瀬 公代 竹本 真琴
外園 康裕 花川 雅昭
渡辺 真千 上数 弘治
松村 尚子

松井康夫（自由民主党議員団）



《市長のまちづくりについての基本的な考え方について》

●**質疑** 今後人口は確実に減少していくことになるが、当市の魅力を武器にした地方創生、地域の活性化を図るため、新しい取り組みとして関係人口の創出、拡大のための方策は。

●**市長** 現在、関係人口の創出に特化した具体的な施策や事業については取り組みを行っているが、当市がこれまで道の駅や軽トラ市などにおいて、ブドウやイチジク、ワイン、お肉などの地域の特産品や地場産業を生かしながら、町の魅力としてにぎわいと交流の促進に取り組んできた。今後も町の魅力の向上とその発信にさらなる磨きをかけ、訪れた方々に羽曳野への思いを強く持ってもらえるようなおもてなしの環境整備を順次進めていくことで、交流人口や関係人口の創出、拡大、すなわち羽曳野のファンの増加につなげてまいりたいと考えている。

●**質疑** 浅野家住宅（旧オキナ酒造場）を地方創生の拠点として整備し、羽曳野版DMOのにぎわいを創出する拠点として担ってもらうとの方向性となっているが、現在羽曳野版DMOの将来

構想をどのように考えているか。

●**市長** 羽曳野版DMOは、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役として活動が期待された法人組織。基本的な役割を踏まえ、まちづくり、観光づくりの先導役や指令塔、地域の共生、積極的な事業展開や情報を一元化して発信するなど、大きな役割を担っている。そして、当市が地域再生法に基づき認定をいただいている地域再生計画で目標とする羽曳野全体の地域づくり、まちづくりを推進して、羽曳野の地方創生の実現に向け、交流人口の増加、産業の再生と雇用の創出、移住・定住の促進に取り組む。

●**質疑** 峰塚公園の周辺エリアにおいて、例えば地域づくりについては、現在どのような構想を持っているか。

●**市長** 町の玄関口である6つの駅の整備とあわせて、さまざまな資源を有するこの区域を、峰塚公園を中心として、今後魅力の発信と観光振興の重要なエリアとして位置づけて、景観の保存、継承についてもしっかりと図りながら、たくさんの方が訪れ、にぎわいと活気のある新たな交流の拠点として、地域一体となった環境整備を順次進めたいと考えている。

●**質疑** 3つのまちづくりの戦略の推進も含めた施策を進めるに当たって、その土台となるのは行財政運営。昨年3月には、新たな行財政改革大綱が策定された。また、以前より市長は、事

業の選択と集中や不断の改革に取り組んできたと思うが、現在の行財政運営の展望や今後の見通しは。

●**市長** 昨年新たな行財政改革大綱を策定し、その目標を少子・高齢化、人口減少による社会変動に耐え得るよう、内なる構造改革、組織体制の強化、持続可能な行財政運営の確立をさらに推し進め、市民の皆さんとの協働を拡充しながら、安定した市民サービスの提供を目指すとしたところ。令和の時代を迎えた今、これまで以上に多様化、高度化する市民ニーズに的確に対応するために、今後も組織体制の強化、持続可能な行財政運営の確立を推し進めて、安定したサービスの提供を目指す。

●**要望** 関係人口の創出、拡大のための方策、また羽曳野版DMOの将来構想をどのようにするのか。また、峰塚公園周辺エリアの地域づくりについては、しっかりと目的を持って取り組んでもらいたい。

●**質疑** 重点的な施策による取り組みは、積極的に実施することを大いに歓迎して期待しているが、今後増加していく社会保障費への対応について、現状分析や将来予測、制度改革等に対応する組織の横断的な仕組みづくり、今後の具体的な方針、対策などはどのように考えているのか。

●**市長** 当市の社会保障経費の現状は、10年前の2010年、平成21年度当初予算における一般会計歳出予算と2020年、令和2年度の当初予算と比較すると、約95億円の伸びのうち、

民生費が8割弱、約73億円を占めている。市の社会保障経費の核である医療、介護、福祉、子ども・子育てなど各分野それぞれの事業計画策定等の中で現状を把握し、将来予測の推計をしていくことになるが、何より少子・高齢化、人口減少による社会変動に耐えうるものでなくてはならない。加えて、組織を横断したきめ細やかで切れ目のない支援が欠かせないのではないかと考えている。これらは避けて通ることのできない増大する社会保障経費の財政的な適正化に向けての施策であり、一つ一つを実行することによって、次の世代に先送りせず、道筋をつけていくものと考えている。

●**要望** 行政は攻めと守りの姿勢をバランスよく行うことが非常に重要だと思う。今後厳しい財政状況が続くこととなるが、攻めの施策を行うには、基礎となる運営基盤が必要。シティプロモーションの戦略をしっかりと打ち立てていくこと、官民連携と協働のまちづくりを進めるプラットフォームづくり、そして簡素で柔軟かつ戦略的で快速な組織・人材体制をしっかりと打ち立てて事業の推進体制を構築すること、この3点が本市では弱い部分だと考えている。政策課題が山積する中において、スピード感を持って、この組織としてもプロジェクトチームを立ち上げるなどして、前へ前へと進める施策展開が今強く求められている。そのことを強く要望する。

樽井佳代子（市民クラブ）



《重点的な施策について》

●**質疑** 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と日本遺産「竹内街道」のあるまちとして、今後重要な施設となる浅野家住宅とその運営主体となる羽曳野版DMOの進捗状況等、市長の思いは。

●**市長** 地域の皆さんのオキナ酒造の景観や歴史を何とか残してほしいという思いも受けて地方創生の推進に取り組んでいるところである。羽曳野版DMOについては、2月に候補法人の登録申請を行っている。

●**質疑** 災害対策について、学校施設以外での災害備蓄物資・資機材の防災機能の強化と、ストレスを軽減できる避難所の整備・運営を具体的にどうしていくのか。

●**市長** 市内公共施設を利用して備蓄箇所拡充を考えている。避難所については、個人のプライバシーの保護、高齢者・要援護者への配慮に努めたい。

●**質疑** 危機管理という観点では、今回の新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な事態であるが、当市での対策は、どうなっているのか。

●**市長** 対策会議を設置し、市民・職員への感染予防対策の周知、市主催事業の中止・延期、公共施設への消毒剤の設置など、感染の拡大防止に努めているところである。

●**質疑** 公立幼稚園での園児の減少を踏まえ、幼稚園バスの送迎による複数園での交流事業や合同保育を具体的にどのように取り組んでいくのか。

●**市長** 合同保育、複式クラスの実施を保護者の希望される方向で実施できるように取り組んでまいりたい。

《令和2年度の主要な取り組みについて》

●**質疑** 恵我ノ荘駅前広場の整備について、進捗状況や完成目標は、どうなっているのか。

●**市長** 駅前広場として、ロータリー機能と歩行者空間である歩道の整備を視野に、令和3年度末完成を目指し、府道郡戸大堀線と一体となった整備が必要と考えている。

●**質疑** 市営住宅集約建替工事について、具体的な計画とスケジュールはどうなっているのか。

●**市長** 鉄筋コンクリート造8階建て、約80戸の計画で、令和3年3月に着工、令和4年秋頃の竣工予定である。

●**質疑** 認知症対策を推進していく組織「チームオレンジ」の構成メンバー、実施内容は、どのようなものか。

●**市長** 認知症地域支援推進員等をコーディネートに配置し、認知症サポートを中心とした支援者をつなぐ仕組みであり、認知症高齢者やその家族が孤立しないための関係づくりを行っていると思います。

●**要望** 高齢者、障害者、誰もが健康で生き生きと暮らしていける羽曳野市であっていただきたい。

●**質疑** 子どもたちに毎日の給食を提供する給食センターは、耐震化と老朽化対策が喫緊の課題である。給食センターの建て替えの進捗状況は、どうなっているのか。小学校給食・中学校給食

食に対する市長の思いは。

●**市長** 給食センターについては、現在、基本プランを進めている。中学校給食については、選択制の継続を考えており、小学校給食では地場産の農作物を取り入れ、食育を位置づける。

●**質疑** 幼稚園・保育園の施設の安全対策はどうなっているのか。現状と今後の取り組みは。

●**市長** 令和2年度に保育園4園に電子錠と防犯カメラを設置する予定であり、今後とも保育園・幼稚園の安全対策を優先的に進めてまいりたい。

●**要望** GIGAスクール構想、幼稚園・保育園の子ども園への移行など、教育環境の改善は、今後も進めていただきたい。

●**質疑** 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の「おもてなし」する環境整備について、具体的にどのように取り組まれているのか。また、世界遺産もふくむ応援基金の活用は、どのように考えているのか。

●**市長** 地元商店会と協力して取り組みとともに、ボランティアガイドの養成を進める。また、市民ギャラリーも施設として活用していきたい。基金については、広く市民の皆さんに価値を伝え、その保護やそれを活かしたまちづくりに参加していただく取り組みに活用してまいりたい。

●**要望** 世界遺産、日本遺産などについて、愛着と誇りをもって郷土愛を育み、後世に継承していくことが最も重要である。住んでよかった、住み続けたい、住んでみたいと思っていただけける施策を展開していただきたい。

●**質疑** 公共施設等総合管理計画・第

1期アクションプランについて、現在の進捗状況、未耐震の大規模な公共施設の建て替えの考えは。

●**市長** 「公共施設等総合管理計画」及び「第1期アクションプラン」については、総務省からのユニバーサルデザイン化の推進方針を追加し、計画全体の点検・診断を行うなど、令和2年度に見直しを行う予定である。

●**要望** 市役所庁舎など、当市に残っている未耐震の公共施設は、早急に目途をつけられるように、是非ご尽力いただきたい。

●**質疑** この16年間を振り返り、市長としての市政運営に対する思いや考え、今後の羽曳野の市政の展開について、市長としての総括は。

●**市長** この16年間、市民の皆様のご期待にお応えすべく、市民の皆様並びに市議会議員の皆様とともに一歩ずつ着実にそれまでの課題を解決し、新たな躍動する羽曳野の創造に取り組んでまいりました。おおむね市民の皆様に満足いただける成果が出せたのではないかと思っている。あらゆる世代がやり甲斐を持てる、これからの未来に喜びや希望が持てる、羽曳野のまちにしていきたい。

●**要望** 次代を担う子どもや若者、子育て世代を中心に、高齢者の皆様まで、あらゆる世代が、これからの未来に夢や希望が持てる羽曳野市であること、また、元気で魅力あるまちであり続けることを願う。市長には、将来の羽曳野のまちづくりの方針、方向性を示していただきたい。私たち議員もしっかりと議論して羽曳野市の発展に取り組んでまいりたい。

笠原由美子（公明党）



《行財政改革大綱の取り組みについて》

●**質疑** ①策定後の成果と新年度の取り組みは。②市長の肝いりで絶対になり遂げたい改革は何か。

●**市長** ①基本は、持続可能な行財政運営の確立、人材育成と組織の変革、公共施設マネジメントの推進、市民協働のまちづくりの推進、外郭団体の改革の5つの柱で財政健全化に幅広く取り組み。②市民に満足いただけるサービスの提供を達成するために、これまで以上に市民サービスを向上してまいりたい。現場に足を運び、市民の声をうかがうこと。人材育成、組織の改革に取り組んでまいりたい。

●**要望** 行財政改革への取り組みにおいて評価できることが多くあるが、人材育成や組織体制の強化のために、職員のスキルアップに積極的に取り組みむことを要望する。

《キーワード「安心」より》

●**質疑** 65歳以上の約5人に1人が認知症高齢者と推察される中で、引きこもり対策と外出促進の移動支援について市長の考えは。

●**市長** 移動支援に関する市民ニーズについては、高齢者の移動手段や生活支援の具体化を検討し、形にしてタイムリーに実施することを考えている。

●**要望** 今後、敬老祝金の予算を使っ

ても、高齢者の移動手段の検討を強く要望する。

《国土強靱化地域計画の策定について》

●**質疑** ①災害備品の備蓄場所がなく、お困りの町会に、道路予定地等、先行取得した未利用地の行政財産を特別な条件のもとで、備蓄倉庫の設置等ができないか。②災害時、災害避難場所での災害対応自動販売機の設置計画は。

●**市長** ①行政財産の性質も踏まえ判断し、地域ニーズへ対応できるよう努めていく。②設置の必要性や機能等を含め今後適切に対応する。

●**要望** ①被災者支援システムの全国センター長から危機管理と横串の連携、何時でも対応できるシステムの構築と体系づくりを学んだことを生かし、全職員が危機意識を持ち、誰もが対応できる訓練と可動域を整える体制を要望。②災害対応型自動販売機の設置を要望。

《キーワード「未来」より》

●**質疑** 子どもが生き生き育つ環境の取り組みで、①子育て世代包括支援センター開設後の経過と、利用者目線での取り組みについて②産前産後サポート事業は、妊産婦が抱える悩みに助産師等の専門家の相談支援や家庭や地域で孤立感を解消することだが、今後取り組む産後ケア事業の内容は。

●**市長** ①設置後は個室の相談室を設け妊娠、出産に関する心配や不安を聞き取り、妊娠期から育児期にもスムーズな支援が行えるようになった。②訪問での支援に加えて、ショートステイやデイサービスの利用を4月からスタートする。

●**要望** 羽曳野版ネウボラの子育て世

代包括支援センターは、もつと明るく、一目で相談ができる場所だとわかるよう工夫を要望する。また利用者目線に立った取り組みで、子育てに優しい、子育てができる町羽曳野として進めていくことを要望。

《快適でうるおいのある 住みよいまち》より》

●**質疑** 市営向野住宅の建てかえにより、住宅困窮者は入居できるのか。

●**市長** 住宅確保要配慮者に対する支援について進めていく。

●**要望** 住宅困窮者のセーフティーネットとして取り組みを要望する。

《ともに支え合い 健やかに暮らせるまち》より》

●**質疑** ①高齢者の補聴器問題で、障害認定の境目で困っている方が多くいるが、その助成への検討は。②第8期高齢者いきいき計画のコーディネーターの育成で、介護家族をフォローする教室的な取り組みができないか。

●**市長** ①助成は身体障害者手帳の取得が前提。手帳取得のための診断ができる指定医療機関への相談、受診を案内している。②地域支援事業の中で、家族介護教室の開催をしている。また当事者家族の交流会、介護方法や介護保険制度の情報提供等、在宅療養されている家族への支援も行っている。

●**要望** 高齢者の補聴器問題は、2025年から更に高齢化が進むことから検討するよう要望する。

《未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち》より》

●**質疑** ①ロタウイルスワクチン予防接種の円滑な実施について

●**市長** ①ワクチン接種の前倒しは検討したが本年10月に適切に実施する。

《魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち》より》

●**質疑** 創業支援補助金事業の開始の目的は。

●**市長** 市内での創業を促進し、地元商店街と連携して地域経済の発展に努めたい。

●**要望** お仕事ナビのサイトを立ち上げ、市内での就労や創業支援セミナーのご案内等ができるよう要望。

《歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち》より》

●**質疑** 「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録後、市の玄関口は古市駅だが、駅西側は世界遺産登録になった痕跡やにぎわいが少ない。近隣の商業施設にも協力いただき取り組み考えは。

●**市長** 一目瞭然にわかってもらえるよう責任を持ってやっていく。

《市民とともに築く 自立したまち》より》

●**質疑** ①マイナンバーカードを活用した消費生活活性化策で、キャッシュレスがスタートし、多くの方が利用。さらにマイキーIDの取得で、より簡単に利用できるがその取り組みは。

●**市長** 取得方法について、広報紙や市ウェブサイトを活用して十分に周知し、円滑なカードの交付とマイキーIDの設定を促進する環境と体制の整備を図り、支援していく。

●**要望** マイナンバーカードやマイキーIDの必要性を市民にアピールをすることを強く要望する。

《その他の質問》

●**災害時等、無線の戸別受信機の導入について**

●**未就学児の教育・保育施設の施設長寿命化計画の策定について**

笹井喜世子（日本共産党）



《新型コロナウイルス対策について》

●**質疑** 政府の基方針が打ち出され、国民にさまざまな要請をする一方、国の果たすべき役割が打ち出されていないと批判が上がる中、当市の幼稚園、小・中学校も休校となった。政府の対応について市長の見解は。また市の体制と具体的な対策や対応は。

●**市長** 2月26日、首相がこの2週間は感染防止に重要と強調し、当市も非常に注意深く状況を監視する必要があると考えている。また対策会議を2月27日に対策本部会議に格上げし、保健センターを窓口として、大阪府としっかり連携をとって対応していく。

●**要望** 今後対策を一致団結して進め、マスクや消毒液などをそろえ、感染拡大の予防策をとり、ホームページなどでわかりやすい情報提供を要望する。

《未来を見据えた子育て支援と教育について》

●**質疑** 幼児教育・保育の無償化により、公立幼稚園の申し込みが激減した。全ての幼稚園で3歳児保育や預かり保育を実施し、幼稚園・保育園のあり方についても再考すべきだが考えは。

●**市長** 公立幼稚園13園の全てを存続させることは非常に厳しい現状にある。3歳児保育は4園で実施し、その他の園については認定こども園化を図る際に実施を検討する。今後もこの方針に沿って着実に進めていく。

●**要望** 公立幼稚園の3歳児保育と預かり保育を早急に実施することを強く要望する。

●**質疑** 当市では学級定数を超える学級が小・中学校合わせて39クラスにもなっている。府下11市では市単費で35人以下学級が実施されている。きめ細かく、ゆとりを持って取り組める35人学級の実現への考えは。

●**市長** 35人学級の実現は第1義的には国、府の責任で実施すべきで、今後も教育委員会を通じて国や府に教職員定数の改善を粘り強く要望していく。

●**要望** 誰もが等しく豊かに教育を受けられるよう国、府へ改善を求め、市独自で35人学級の早期実施を要望。

●**質疑** 約7割の保護者が給食を食べさせたいという結果と子ども達の昼食の現状を受けとめ、中学校全員給食に踏み出すべき。また給食施設は自校方式も検討すべきだが考えは。

●**市長** 現行の選択制を継続する方針は変わらない。自校方式は多額の経費が必要。センター方式を進めたい。

●**要望** 温かくておいしい中学校全員給食の早急な実施を強く要望。

《賑わいと住みやすい魅力あるまちづくりについて》

●**質疑** 古市駅、駒ヶ谷駅を歴史あるまちの玄関口にふさわしい改善をすべき。また魅力あるまちづくりを進めるために、多くの市民の意見を持ち寄り、知恵を出して議論する場を持つことが大変必要であるがその考えは。

●**市長** 近鉄と連携・協力し、来訪者を迎える環境づくりを行う。今後古墳の整備は住民の意見を聞く方策を検討。資産の保存、活用はボランティアなどの意見を聞く仕組みづくりに取り組む。

組む。

●**要望** 住民も参加する仕組みづくりを要望する。また歴史ある当市の玄関口としてふさわしい整備を近鉄とも協力しながら整備、改善することを要望。

●**質疑** 公共施設循環福祉バスや路線バスが市内交通網となっているが、今後公共交通の充実をどう図っていくのか。またまちづくりの観点で担当部署をつくるべきだが、その考えは。

●**市長** 充実した循環バスの運行体制を利用者負担なく運行している。公共交通を担当する部署を立ち上げる考えはない。

●**要望** 公共交通は不採算部門を抱えているが、介護予防で介護給付費が減る、買い物で経済が循環するなど、財政負担を補えることも考えられる。公共交通策をつくる部署の立ち上げを要望する。

《市長の政治信条について》

●**質疑** 民主的な市政運営について、事業に取り組むに当たり、施策ありきで市民や利用者の声を聞かず、合意もなく進められているが、住民の声や意見を聞く仕組みや、それらを政策に生かす考えは。

●**市長** それぞれの事業に対して最適な体制で検討し、さまざまなプロセスを踏み、多様な意見を出し合う民主的な市政運営に努めている。

●**要望** 民主的な市政運営については市長と毎回議論になるが、認識が一緒になることが難しい。今後市政運営は、職員の知恵や力をしっかり引き出し、市民や専門家の意見を聞き、反映させる体制をつくること。また進捗を明らかにし、庁内共通の認識にしていける取り組みを進めるよう強く要望。

●**質疑** 安倍首相の9条改憲に世論調査で多くの国民が反対している。地方自治法で明記されている住民の福祉の増進に真つ向から反するものである。また大阪府が進めるIR事業、カジノ参入を巡って収賄事件が起きる中、IRの正当性が根底から問われている。首相の進める改憲と、カジノに対する考えは。

●**市長** 憲法改正については、今後も国民的な議論が行われていくものと考えている。カジノ事業については、大阪府、大阪市内において行政、議会これからの議論されていくものだと思理解している。

●**要望** 国や府が進めることだから決まれば従うという姿勢ではなく、市長として市民の暮らしや命を守る立場で発言、発信をしていくよう強く要望。

●**質疑** 第2期人権施策基本計画にジェンダー平等の視点を位置づけることが必要だが考えは。

●**市長** ジェンダー平等の視点は重要な目標の一つで国、府の動向を踏まえ、人権審議会の意見もいただき策定する。

●**要望** 第2期人権施策基本計画にジェンダー平等の視点を位置づけ、具体的な計画を立てるよう要望する。

●**質疑** 地球温暖化対策に取り組む決意表明となる「気候非常事態宣言」を市として表明すべきだがどうか。

●**市長** 気候の変動は地球的規模の問題であり、国策として取り組むべき重大な課題であり、地域の実情に沿った施策継続の積み重ねが対策となる。

●**要望** 気候非常事態宣言は国への大きなアピールにもなり、検討を要望。

竹本真琴（大阪維新・無所属の会）



《市政運営の基本方針より》

●**質疑** 交流人口を呼び込む具体策は。

●**市長** 世界遺産と日本遺産のある町羽曳野を市民、来訪者とともに発信したい。

●**質疑** 自主財源の確保に向けた具体的な取り組みは。

●**市長** ふるさと納税について、令和2年度から申し込み受付のサイトを1社から4社にふやす。また市有財産を活用し自主財源を少しでも補えるような施策を積極的に展開する。

●**要望** 世界遺産に登録され、62年目を迎えた当市にとって成長曲線を描いていく大きなチャンス。そのチャンスをつかみ取るためにシティブロモーションを通じてマーケティングを行い、交流人口を当市に招き入れると同時に、当市に移住を考えてもらえるような事業や施策の運動性を強化しスピード感を持った市政運営、持続的に成長していける行財政運営に努めることを願う。

《キーワード「魅力」より》

●**質疑** 聖火リレーが開催される4月15日時点の浅野家住宅周辺の状況は。

●**市長** 4月15日の15時20分より古市駅西駐車場にて出発式を含めたミニセレブレーションを行う。浅野家住宅は街道沿いの景観を現状のままに環境を整えているところ。

●**質疑** 駅前ミスト設置の財源は。

●**市長** 大阪府において1カ所1、500万円を上限に補助率10分の1となる。

●**要望** 多くの皆様に当市の素晴らしさを伝えることができるよう魅せ方や内容を含め、創意工夫しながら最高の成果を求めることを願う。

《キーワード「未来」より》

●**質疑** 園児数が特に少ない公立幼稚園の交流授業や合同保育の取り組みは。

●**市長** 幾つかの園において合同保育を受けたと希望する園もあった。早速合同保育ができるようにスクールパスも走らせ、その体制を整えたい。

●**要望** 今後さらなる少子化が懸念されることから、小規模園の今後の展開についての施策を検討することを願う。

●**質疑** GIGAスクール構想の整備の事業内容や計画等の詳細は。

●**市長** 全市立学校に高速大容量校内ネットワークの整備をする。また令和2年度からの4年間で、全市立学校の児童・生徒に1人1台の端末の整備を順次行う。

●**要望** 市独自の教育施策も検討し、教育環境の充実を図ることを願う。

《快適でうるおいのある 住みよいまち》より

●**質疑** はびきの幹線の敷設等の概要は。

●**市長** 浸水対策として埴生野西地区の南側を起点に北へ延長220m、管径1,350mm、終点の府道西藤井寺線に埋設されている雨水幹線に接続する。

●**要望** 昔は池や畑だったところが環境や雨水の容量が変化し、浸水被害が出ていることが長年の悩みであった。今後も地域の安心・安全を確保すべく事業の継続を願う。

《未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち》より

●**質疑** 新たな給食センター建設に当たり、中学校給食を見込んでいないという見解は現在も変わらないのか。

●**市長** 家庭弁当、デリバリー弁当の選択制を継続していきたい。中学校給食の導入は考えていない。

●**要望** 他の自治体では中学校全員給食化も進み、市民ニーズはこれからも高まってくる。再度検討することを強く要望する。

●**質疑** 大阪市では小・中学校給食の無償化構想が打ち出された。当市でも検討する余地があると考えている見解は。

●**市長** 貧困から守る視点から決して否定するものではないが、父兄と一緒に学校給食を支えるのが基本である。

●**要望** 大阪市では令和3年度での予算計上を視野に入れて検討していると報道されている。当市でも検討することを要望する。

《魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち》より

●**質疑** 創業支援補助金事業の概要は。

●**市長** 創業者に経費の一部を補助し、新規の創業を促進するもの。補助額は整備、備品の購入費、店舗等の改装費の2分の1以内、上限は20万円。

●**要望** 商工会や各商店会との連携を深め、経済の活性を肌で実感できるような事業実施を願う。

●**質疑** デザイン路面シートやマンホール蓋を設置していくとのことだが、どのようなデザインで、どこに何力所程度考えているのか。

●**市長** 路面シートは竹内街道の主要交差点等に約10カ所を予定。マンホール蓋は公共施設の敷地内、駅周辺の幹線道路の歩道を候補地に約30カ所設置を予定。デザインは世界遺産、日本遺産並びに古市古墳群と竹内街道の文字

と、つぶたんを取り入れたもの。

●**要望** 当市のプロモーションとまちの景観づくりに期待している。計上した予算の価値を生み出すような仕上がりを楽しみにしている。

《歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち》より

●**質疑** 来訪者をおもてなしする環境整備についての具体策は。

●**市長** 今後の展望として学校での郷土史や世界遺産の学習を通じて子ども達にガイドの体験をしてもらう。

●**要望** 当市に足を踏み入れた時の第一印象は印象に残る。その先入観が邪魔をしないよう景観を意識し清潔感と整理された環境を見せることにこだわらなければならぬ。デザイン面においても原理法則があるということも理解し、魅せ方を意識したおもてなしに努めることを願う。

●**質疑** 市立小学校のプール事業に係る今後の展開は。

●**市長** 令和4年度の供用に向け現在設計を進めている屋内温水プールを早期に開放したい。

●**要望** 子ども達の安全を第一とし、円滑な事業の実施を願う。

《市民とともに築く 自立したまち》より

●**質疑** 後期基本計画の基軸となる事業や施策は。

●**市長** 基本構想に上げた3つのまちづくりの戦略を掲げつつ、社会情勢や市民ニーズの変化にも対応した見直しを行い、進めたい。

●**要望** 先ほどから要望として上げた議題についても市民ニーズとして積極的に取り入れていくことを要望する。

《その他の質問》

●介護予防リーダーについて

●国土強靱化地域計画について

●成人歯科検診について